



学校だより

臨時号3

教育目標：自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yamata/>

「新しい生活様式」を定着させる ～保護者の皆様とともに～

校長 金森 孝子

学校再開まであと数日となりました。授業等の準備を進める中で、職員室でも、校庭でも、教職員の明るく弾んだ声飛び交うようになりました。「非接触型体温計、今なら注文できそうです!」「早く子どもたちみんなと会いたい!」「身長が伸びて、驚いた!」「課題、本当に丁寧に取り組んでくれています!」「(児童に対して)何か、困っていることはないですか?」(月曜日の課題配付・回収日の会話から)「畑のキュウリがもう大きく育っています!」本当にうれしそうです。

緊急非常事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルス感染のリスクがなくなったわけではありません。山田小学校においては感染リスクを減らす可能な限りの手立てを講じてまいりますが、感染防止と教育活動を両立させるためには、一人ひとりが感染予防について理解し、できることをしっかりやっていくこと、そして学校全体の意識を高めることが最も大切です。また、児童へ適切な指導を行い、限られた学校時間の中で生活様式を定着させていくには、学校と家庭が連携し、「新しい生活様式」を児童が家庭でも学校でも実践していくことが必要です。「山田小学校の新しい生活様式」は、今後、保護者の方にもお示ししていきます。ご協力のほど、よろしくお願いたします。

学校だより「臨時号3」では、「登校にあたっての保護者の皆様へのお願い」や「学校で実施していくこと」などをまとめました。6月1日の再開に向けて、ご家庭でもご準備をお願いいたします。

【出欠席の連絡】

① 午前登校の欠席連絡は、**8時15分まで**、午後登校の欠席連絡は、**13時まで**、次の番号にショートメールをお願いします。(児童の登校時間帯は電話対応が難しいため)

- 1年、2年 070-1307-2189
- 5・6組、3年、4年 070-3155-6035
- 5年、6年 080-4460-3708 ※番号のお間違えにお気を付けください。



【ショートメールの内容】

- ① 名前 ② 学年・組 ③ 欠席理由 (状況などもお伝えください)

【健康観察カード】

健康観察表		年 組 番 名前	
月	日	体温	その他
5	2		
5	3		
5	4		
5	5		
5	6		
5	7		
5	8		
5	9		
5	10		
5	11		
5	12		
5	13		
5	14		
5	15		
5	16		
5	17		
5	18		
5	19		
5	20		
5	21		
5	22		
5	23		
5	24		
5	25		
5	26		
5	27		
5	28		
5	29		
5	30		

家庭確認サインを必ずお願いします。

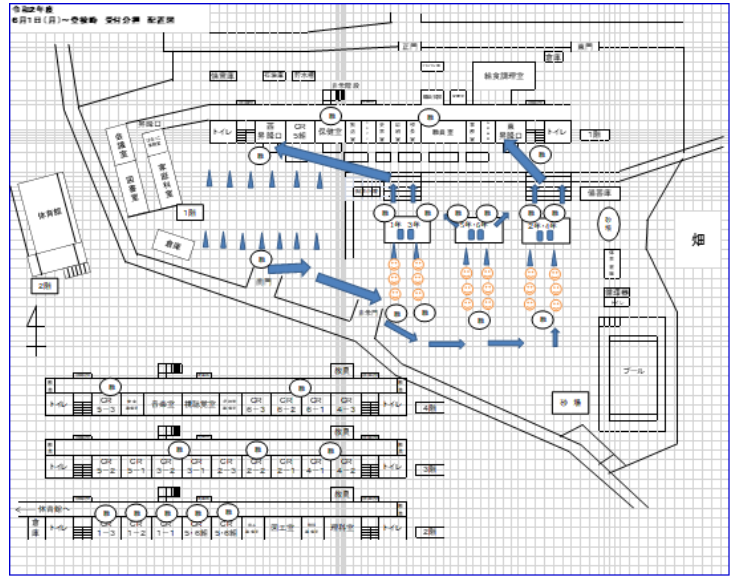
- ① 体温は必ず毎朝検温し、「健康観察カード」に保護者の方が記入をお願いします。
- ② 「家庭確認サイン」については、児童の健康はもちろんですが、同居しているご家族が発熱、咳などの症状があるかどうかも含めての**確認サイン**です。

子どもの感染事例は一定数生じており、その多くは家庭内での感染といわれています。学校内での感染拡大を防ぐためには、何よりも外からのウイルスを持ち込まないことが重要であり、そのためには、各家庭の協力が不可欠です。(文科省 衛生管理マニュアル「新しい生活様式」から)

- ③ 記入漏れがないように、お願いします。
- ④ 登校後、校舎に入る前、学年ごとに「健康観察カード」を確認します。
- ⑤ お子さんが、手提げカバンなどから「健康観察カード」がすぐに出せるように、ご準備ください。※教員が健康状態に問題のない児童のカードに印を付けます。印をもらった児童は、「健康観察カード」をもって校舎に入ります。

【健康観察】

- ① 校舎に入る前に、学年ごとに、身体的距離を確保して並び（最低1メートル）、健康観察カードをもとに、健康観察を行います。（学年ごと、2人の教師が実施します）
- ② 教室の前の廊下では、1学年につき1人の教員が待機し、児童をクラスの指定の席（机と椅子には名前が貼ってあります）に座ることを伝えます。また、手洗いの声掛けを行います。
- ③ 担任が、児童の机上の「健康観察カード」を確認します。
- ④ 校庭においても、児童、教職員ともにマスクを着用します。



【特にご配慮いただきたい持ち物について】

（詳しくは、5月29日（金）ホームページにアップします学年便りをご覧ください）

- ① 6月健康観察カード（家庭確認サイン済みのもの）
- ② マスクと予備のマスク（予備のマスクは、ファスナー付き透明袋に名前を書き、入れるようにします。また、体育の授業では、マスクを外しますので、その際も活用します。透明袋は2枚あると便利です。布マスクの場合は、直接記名をお願いします。予備のマスクは、お子さんが取り出しやすい箇所に入れるようにサポートをお願いします。）
- ③ 水筒（学校の水道水を飲むとき、蛇口に顔と口を近づける状況が発生します。学校の水道水を飲むことは禁止しませんが、水筒を持ってくることで、蛇口などの共有している箇所について、接触する回数を減らすことができます。）

◇水筒の中身は水（湯冷まし）、お茶に限ります。一度沸かしたものにしてください。ジュースや炭酸飲料等は禁止です。

◇水筒は保冷式の物をお願いします。

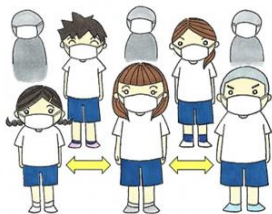
◇水筒は必ず毎日各自で持ち帰り、ご家庭において中栓やふたなどの汚れ、ぬめり等が取れるよう、中の方までブラシでよく洗浄してください。

◇学校の水道水は、定期的に水質検査を行い、これまで通り飲用できます。ただし、前の日の置き忘れた水筒に、学校の水道水を補給することは、衛生上できません。

- ④ 手拭きタオル・ハンカチ
- ⑤ 眼科保健調査票（1年生以外）
- ⑥ 児童・生徒引き渡しカード
- ⑦ 学校との連絡用の茶封筒（1年生以外）

【学校での三密回避】

学校では、3つの密（密閉・密集・密接）を回避するために、3つの密が重ならない場合においても、リスクを軽減するための「ゼロ密」を目指します。



① 身体的距離の確保

人との間隔は、できるだけ2メートル（最低1メートル）空けるようにします。

② 座席配置の工夫

児童の間隔について、1メートルを目安に、学級内で最大限の間隔をとるようにします。また、1クラスの人数は20名以内とします。

（20名以内とするのは、分散登校の期間）

③ 換気の徹底

気候上可能な限り、常時2方向の窓を同時に開けて行うようにします。授業後は、窓・ドアを開放し換気を行います。エアコン使用時も換気を行います。

【授業での配慮事項】

体育、音楽、家庭科等をはじめとして、多くの配慮事項があります。次回の学校だよりで詳しくお伝えします。

【消毒について】

児童の登校前（登校後）、全教職員で、共有使用箇所を重点的に消毒します。

【学校での手洗いについて】

養護教諭がテレビ放送で全学年に指導します。手拭きタオル・ハンカチの貸し借りは厳禁です。

消毒の例

教室・流し・階段（共用部分）の消毒（例）

教室

- ①外のドアの引手
- ②中のドアの引手
- ③スイッチ
- ④黒板消し
- ⑤机
- ⑥いす（背もたれ）

流し ☑蛇口

階段 ☑手すり

希釈した薬液（0.05%）をキッチンペーパーや不織布、布等に含ませて使います。

トイレ（共用部分）の消毒（例）

- ①トイレ出入口スイッチ
- ②出入口ドア取っ手
- ③蛇口
- ④手すり
- ⑤個室ドア鍵（外）
- ⑥個室ドア鍵（中）
- ⑦ペーパーホルダー
- ⑧便座
- ⑨レバー

希釈した薬液（0.1%）をキッチンペーパーや不織布、布等に含ませて使います。

※①～⑥、①～⑨の順で拭き進めます。※1日1回消毒してください。

手洗いの6つのタイミング

- 外から教室に入るとき
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
- 給食（昼食）の前後
- 掃除の後
- トイレの後
- 共有のものを触ったとき

手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に、爪は短く切っておきましょう。時計や指輪は外しておきましょう。

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのばすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りにこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをぬらし洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんを洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

手洗い後、蛇口に水をかけてから蛇口を閉め、水を止めます。

手洗い後、蛇口に水をかけてから蛇口を閉め、水を止めるよう指導します。

消毒場所はこれにとどまりません。児童が共有した場所以外に、教職員が使用した場所も消毒を徹底します。職員室のドアノブ、照明スイッチ、電話機・ファックス・携帯電話、共用のパソコン、マスク、キーボード、タブレット、教室の鍵など。あげればきりがありませんが、一人一人の意識が大切だということが分かりますね。

【学校で大切にしていること】

■学校は再開しますが、学習面や新たな集団生活や関係づくりへの不安、感染に対する恐れなど、児童は様々な思いを抱えていると思います。そのことを学校はしっかり受け止め、一人一人が通常の学校生活を送れるように、支援を行っていきます。・・・教育相談や「学校再開スタートプログラム」の実施

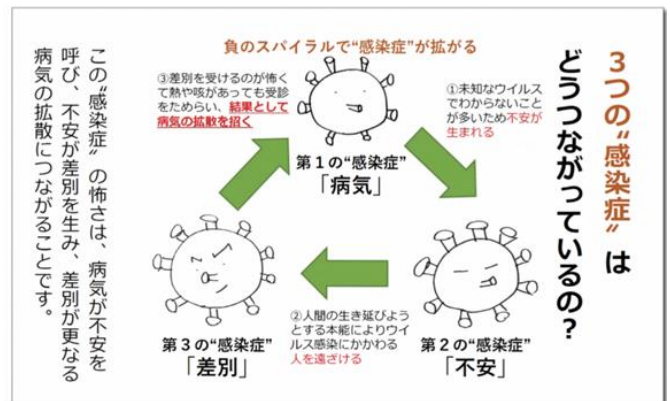
■新型コロナウイルスを理由としたいじめや偏見は、決して許されることではありません。正しい理解のための指導、些細なことを見逃さない体制、対応を学校として実施します。

- ・第1日目のテレビ放送での全児童への働きかけ（校長・養護教諭・児童支援専任）
- ・担任、教職員の見守り

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」
～負のスパイラルを断ち切るために～

【その他の連絡】

- ◇緊急連絡先の変更がある場合は、至急担任にお知らせください。緊急に連絡が必要になった場合につながらないことがあります、対応が遅れます。よろしくをお願いします。
- ◇基礎疾患のあるお子さんは、学校再開前に、登校や留意事項、応急処置などについて、医師にご相談ください。
- ◇放課後の校庭開放はありません。



【学校でも家でも実践！「新たな生活様式」】

新たな生活様式は、児童が学校においても家庭においても、同じ行動を繰り返すことによって、習慣として身についてきます。ぜひ、お子さんに声をかけながら、実践してください。

接触感染に注意！

新型コロナウイルスの感染経路として
飛沫感染のほか、**接触感染**に注意が必要です。
人は、「無意識に”顔を触っています！”



そのうち、目、鼻、口などの**粘膜**は、
約**44パーセント**を占めています！

手洗いのすすめ

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます！



※手洗いの効果（イメージ図）

(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌.80:496-500(2006)

手洗いの、5つのタイミング

- 公共の場所から帰った時
- 咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
- ご飯を食べる時
- 病気の人のケアをした時
- 外にあるものに触った時

朝と夜！

② 咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



- 何もせずに咳やくしゃみをする
- 咳やくしゃみを手でおさえる
- マスクを着用する（口・鼻を覆う）
- ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う
- 袖で口・鼻を覆う

厚生労働省ホームページから

石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いで、十分にウイルスを除去できるそうです。





- ① 鼻と口の両方を確実に覆う
- ② ゴムひもを耳に掛ける
- ③ 隙間がないよう鼻まで覆う


免疫力を高めるためには・・・

- ① 十分な睡眠
- ② 適度な運動
- ③ バランスの取れた食事

学校でも、指導しますが、ご家庭での実践が鍵です。よろしくお願いいたします。

4回にわたる健康観察メールへのご回答、ありがとうございました。引き続き、

新型コロナウイルス感染症には、基本的な感染予防対策が有効です。



- こまめに手を洗う
- 咳がでる人は、マスクを着ける
- よく眠り、バランスよく食べる

今後も電子申請システムを利用したアンケートにご協力ください。

- ① 学校再開 確認・相談アンケート
 - ・お子さんの臨時休業中の様子、保護者の方の心配や不安等についてお答えください。お子さんにもアンケートを実施し、適宜、教育相談等を実施します。(5/29発～5/31~~迄~~)
- ② ICT環境に関するアンケート（追加）
 - ・文部科学省が推進するGIGAスクール構想の実現に向けて横浜市立学校に通う児童のご家庭でのICT環境について一斉調査が実施されます。(6月1日以降)

長期休みについて・・・林市長の市長コメント（5月26日）に市立学校の長期休みについての話がありました。今年度、長期休みの期間が変更になります。現在、次のようにすると予定期間の発表がありました。

夏季休業（8/3～8/16） 冬季休業（12/27～1/5） 学年末休業（3/27～3/31）